

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[14] メタクリル酸	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A[水質試料 50mL] --> B[pH調整 1mol/L塩酸水溶液 pH2] B --> C[塩析 塩化ナトリウム 5g] C --> D[洗浄 酢酸 10mL、10分間] D --> E[振とう抽出 トリ-n-オクチルスフィンキニド / ジエチル-テル(0.5:99.5) 10mL (2回目5mL)、10分間 x2回] E --> F[脱水 無水硫酸ナトリウム] F --> G[濃縮 酢酸 30以下 5mL以下まで] G --> H[転溶 アセトン 10mL] H --> I[濃縮 窒素バ-ジ 1mLまで] I --> J[誘導体化 炭酸加 3mg PFBB溶液 0.2mL 80、30分間] J --> K[振とう抽出 酢酸 1mL 精製水 7mL 1分間] K --> L[洗浄 精製水 7mL 塩化ナトリウム0.2g] L --> M[脱水 無水硫酸ナトリウム] M --> N[カラムクリーンアップ Sep-Pak plus Florisil 妨害物質除去: 酢酸 5mL 溶出: ジエチル-テル/酢酸(10:90) 10mL] N --> O[濃縮 窒素バ-ジ 0.5mLまで] O --> P[GC/MS-SIM-EI] Q[窒素バ-ジ 100ng] --> P </pre> <p> クリーンアップ スパイク添加 メタクリル酸-d_5 25ng </p> <p> シンジ スパイク添加 メタクリル酸-d_8 100ng </p> <p> : ペンタフルオロベンジルブロミド (PFBB) 1mL及び 18-クラウン-6をアセトン50mLに溶解させたもの 「平成13年度化学物質分析法開発調査報告書」を参考に変更 </p>	<p>備考</p> <p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】(ng/L) [14] 28</p> <p>分析条件： 機器 GC/MS：Shimadzu GCMS-QP2010</p> <p>カラム DB-WAX 30m×0.32mm、0.25μm</p>